

事務事業評価シート (評価対象年度：平成 30 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	りんくうマラソン大会事業					②事業番号	7628
③事業類型	3. 政策推進事業			④開始年度	昭和 60 年度	⑤終了予定年度	年度 ○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	要綱	計画等	その他	法令等の名称
⑦実施手法	直営	全部委託	○ 一部委託	補助・負担	その他		
⑧関連予算科目コード	款	9	項	6	目	2	細目
⑨担当部名	⑩担当課名			会計			
教育部	生涯学習課			一般会計			

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 市民	① 人口	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
泉南市体育協会に対して、市が委託料を支払い、りんくうマラソン大会の準備・運営を委託している。 種目 小学生の部男子(2km)・女子(2km) 中学生の部男子(3km)・女子(2km) 一般の部男子(8km)・女子(8km) 壮年の部男子(3km)・女子(2km) 学童の部低学年(1km)・高学年(1km) ファミリーの部(1km) シルバーの部(1km)	① りんくうマラソン大会申込者(大人)	人
	② りんくうマラソン大会申込者(子ども)	人
	③ りんくうマラソン大会申込者(ファンランの部)	人
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
スポーツレクリエーション活動の場の機会を提供している。	① りんくうマラソン大会参加者(大人)	人
	② 計算式	
	② りんくうマラソン大会参加者(子ども)	人
	③ 計算式	
	③ りんくうマラソン大会参加者(ファンランの部)	人
	④ 計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
りんくうマラソン大会参加者の体力の増進・健康維持向上に貢献することにより、スポーツの推進を促す。	政策(章)	1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち
	施策大(節)	4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします
	施策中	2 生涯学習内容の充実
	施策小	4 スポーツの推進

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	
対象指標①	人口	人	63,125	62,549	61,984	—	—	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	りんくうマラソン大会申込者(大人)	人	119	42	42	50	100	R2年度は市内の他イベントとのタイアップを想定している。
活動指標②	りんくうマラソン大会申込者(子ども)	人	380	315	277	300	500	
活動指標③	りんくうマラソン大会申込者(ファンランの部)	人	433	375	433	450	500	
成果指標①	りんくうマラソン大会参加者(大人)	人	119	42	42	50	100	
成果指標②	りんくうマラソン大会参加者(子ども)	人	380	315	277	300	500	事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③	りんくうマラソン大会参加者(ファンランの部)	人	433	375	295	400	800	
事業費	投入人員	正職員	人	0.21	0.21	0.13	0.20	
		任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
		臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	
	事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	1,687	1,686	1,054	1,621	
		直接事業費	千円	736	636	623	650	R2年度は市内の他イベントとのタイアップを想定している。
財源内訳		総事業費	千円	2,423	2,322	1,677	2,271	
	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	2,423	2,322	1,677	2,271		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市民のスポーツ交流の場づくりのため、大会運営のノウハウを持つ泉南市体育協会に事業運営を市が委託することによって、活動向上に貢献する。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	このマラソンは子どもの参加割合が多いので、近年の少子化の影響で、子どものスポーツ競技人口が減少してきており、今後どのようにして、スポーツ競技人口を維持していくかが課題となる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	子どもから大人までスポーツに親しむ場となっている。
②税金を使って達成する目的ですか。 (市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	フルマラソンとは異なる様々なコース設定を行い、市民に気軽に参加してもらえるように公共的な立場から、場所の提供を行う必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	多数コース設定があり、ニーズに合っている。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	気軽にスポーツ参加できる機会が失われる。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	一定の参加者が確保されていて、スポーツに親しめる場となっている。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	運営方法や大会開催の広報活動を活発させる。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	類似はなし。

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

B

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	可能なものはすでにコスト削減を行っており、困難である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。 (歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	運営方法を見直し、広告等の収入確保を検討する余地はある。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要
	C	現状の、運営方法、予算枠について変更を検討する必要がある。	

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

イ	ア. 現状のまま継続	イ. 見直しのうえで継続	ウ. 終了 ↓ (年まで)	エ. 休止 ↓ (年から)	オ. 廃止 ↓ (年から)
	↓ <今後の展開方針> a. 重点化する(集中的なコスト投入) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) c. 効率化する(コストを下げる) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)				
①改革、改善の具体案、実施年度など			開催主体団体、運営方法、予算枠について変更を検討し、より良い大会運営を進める。		
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策			改革、改善を行って設立した新たな開催主体団体内における綿密な調整業務とその困難性を乗り越える行政職員の努力。		